

第3章 保健予防推進担当

1 栄養・健康づくり

(1) 健康増進法に基づく、特定給食施設等に対する指導・助言

ア 指導・助言件数

施設の種類	特定給食施設		その他の給食施設	計
	1回100食以上又は1日250食以上	1回300食以上又は1日750食以上		
指導数	95	19	68	182

イ 集団指導

管内給食業務従事者に対して、食中毒発生状況や最新情報、健康危機管理に関する知識を提供し、日常業務に生かすことを目的に研修を実施した。

実施日	内容	受講者数
平成29年 6月15日 会場 加須保健所	講義 (1)給食施設の衛生管理～食材を中心として～ 講師 加須保健所 食品衛生監視員 (2)管内給食施設における健康危機管理取組状況について～平成28年度給食施設研修会で行ったアンケート調査結果から～ 講師 加須保健所 栄養指導員	給食施設管理者・管理栄養士・調理師等 78人

(2) 国民健康・栄養調査

健康増進法に基づき、国民の身体の状況、栄養素等摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的に実施した。

また、本調査に合わせて県民の健康に関する調査も実施した。

調査日	調査地区	調査内容	世帯数及び世帯員
平成29年 11月9日	羽生市	栄養摂取状況調査 身体状況調査	16世帯 33世帯員
11月16日	加須市	生活習慣状況調査	22世帯 47世帯員

(3) 栄養関係団体育成事業

ア 調理師会

業務で飲食提供に関わる調理師に対して、健康に関する知識や情報を提供し、日常業務に生かすことを目的に研修を実施した。

実施日	内 容	受講者
平成29年 9月27日 会場 行田地方庁舎	平成29年度健康づくり調理師研修会 (1)講義 テーマ「利用者にやさしい環境づくりについて」 講師 加須保健所 担当部長 (2)講義および演習 「地域を知って健康づくりを進めよう！」 講師 加須保健所 栄養指導員 (3)健康づくりに関する情報提供 健康づくり協力店で活用できるレシピ紹介 情報提供者 管理栄養士公衆栄養学臨地実習生 (4)その他 ・保健所からのお知らせ 特定健診受診者勧奨 ・行田市からのお知らせ 健康レシピの募集について	調理師等 45人

イ 食生活改善推進員

食生活改善に関わるボランティア活動を行っている食生活改善推進員に対して、健康増進に係る基礎知識の修得と活用を目的に研修を実施した。

実施日	内 容	受講者
平成29年 6月29日 会場 加須保健所	(1)講演 「日本人の食生活事情～平成27年国民健康・栄養調査の結果から～」 講師 加須保健所 栄養指導員 (2)講演 「歯と口の健康と生活習慣病予防～埼玉県歯科保健の取組を踏まえて～」 講師 健康長寿課 主査(歯科医師) (3)保健所からのお知らせ 受動喫煙の防止について	食生活改善推進員 64人

(4) 健康づくり協力店

「健康づくり協力店」とは、県民の方の健康づくりを応援する飲食店で提供する料理の栄養成分表示の掲示や健康情報の提供、埼玉県コバトン健康メニューの提供を行う飲食店である。 * 指定店舗は埼玉県ホームページで紹介。

* 平成29年度新規指定 3店舗

(平成30年3月末現在)

市名	行田市	羽生市	加須市	埼玉県コバトン健康メニュー
				提供店舗・メニュー数
店舗数	30	11	17	羽生市内6店舗 * 埼玉県ホームページ参照

(5) 食品表示に関する指導等

食品表示法(平成27年4月施行)及び食品表示基準に基づく食品製造業者等への指導を行った。

内 容	対 象	件 数
表示、誇大広告に関する相談、指導	事業者	5件
県民に対する啓発(集団指導)	県 民	1回78人

(6) 食育

保育所(園)等を対象とした食育事業

実施日	内 容	受講者
平成29年 10月3日	(1)健康長寿サポーター養成講習 講師 地域活動栄養士	保育園等の管理 栄養士・栄養士 40名 (28施設) 管理栄養士臨地 実習学生2名
会場 加須保健所	(2)保健所からのお知らせ 特定健診・特定保健指導受診勧奨 受動喫煙の防止について 腸管出血性大腸菌感染症(O-157)について 講師 加須保健所 担当部長	
	(3)講演「食品の安全性の考え方について」 講師 大妻女子大学 家政学部 食物学科食品安全学研究室 教授	

(7) 災害時における食生活支援

災害時にあっても、できる限り健康が損なわれることなく生活を続けるためには、健康の基盤となる「栄養・食生活」の環境や支援体制が整っていることが必要である。また、平時から災害時の食生活支援体制を検討しておくことが重要である。平成29年度は管内給食施設の災害時に備えた食環境整備状況について平成28年度に実施したアンケート結果を管内給食施設従事者と共有し、今後取り組むべき対応について意識向上につなげた。

(8) 受動喫煙防止対策

埼玉県では、受動喫煙防止対策の一環として、「全面禁煙・空間分煙実施施設」の認証を推進している。 * 認証施設は埼玉県ホームページで紹介。

全面禁煙・空間分煙実施施設認証施設一覧 (平成30年3月末現在)

種 別	禁煙設数	空間分煙施設
保健・福祉・医療機関	101	6
教育関係機関	63	2
文化・運動施設	21	0
公共交通機関	0	0
娯楽施設等	0	1
飲食店等	71	1
その他民間施設等	28	15
官公庁	16	0
合 計	300	25

(9) 生活習慣病対策総合推進事業

各保険者が実施する特定健診・保健指導事業が、円滑かつ効果的实施できるよう各市特定健診・保健指導事業を担当する保健師、管理栄養士、国保事業担者に対し支援を行った。

ア 特定健診受診率向上支援事業

(ア) 市町村健康長寿のための情報担当者会議

実施日	内 容	参加者
平成29年 8月29日 会場 加須保健所	<p>議事</p> <p>(1)講話 「生活習慣病関連の健康課はあくのためのデータ分析と評価のポイントについて」 ～統計データの読み方も踏まえて～ 講師 国立保健医療科学院 政策技術評価研究部 主任研究官</p> <p>(2)情報交換 ・特定健診・特定保健指導及び生活習慣病予防対策の実施に関する検討結果を情報共有 ・各保険者におけるデータ分析・事業評価等の課題</p>	市職員 12人

(イ) 受診率促進啓発事業

実施日・対象	内 容
平成29年6月 JAほくさい地域(行田市、加須市、羽生市、鴻巣市川里地区)組合員等 22,000部	JAほくさい広報誌6月号に、特定健診受診勧奨記事を掲載。

イ 専門職のスキルアップ研修会

実施日	内 容	参加者
平成30年 1月11日 会場 加須保健所	(1)公開講座 講演「間食を止められない人への食事指導」 講師 女子栄養大学教授 栄養クリニック管理栄養士 (2)情報交換 (市職員のみ) テーマ ・特定健診・特定保健指導及び生活習慣病対策事業実施状況について ・データヘルス計画策定と策定後の事業評価について	市職員、 管理栄養士、 栄養士他 31人

ウ データヘルス計画策定支援

県北保健所(熊谷・本庄・秩父)及び鴻巣・加須保健所共催で地域保健連携セミナーを開催した。管内各市の健康課題・受診率向上の対策を検討し、データヘルス計画策定を支援した。

実施日	内 容	人数
第 1 回 平成 2 9 年 1 0 月 3 日 会場 熊谷市緑化 センター 研修室	(1)講演 「地域の健康実態を把握するための保健事業の推進 方法について」 講師 生活習慣病予防研究センター代表 (2)グループ演習 「個別保健事業の見直しの視点について～実践編～」 助言者 生活習慣病予防研究センター代表 埼玉県国民健康保険団体連合会職員	5 2 人
第 2 回 平成 2 9 年 1 1 月 2 8 日 会場 深谷市上柴 公民館 調理室及び 大会議室	(1)減塩食の試食と話題提供 「おいしく減塩、しっかり味なのに減塩の秘密を体験」 (2)講演 「新しい減塩対策の潮流と高血圧予防のためのポピュ レーション対策」 講師 生活習慣病予防研究センター代表 (3)グループ演習 「対象者の行動変容につながる保健事業と評価を考え よう！」 助言者 生活習慣病予防研究センター代表 埼玉県国民健康保険団体連合会職員	3 2 人
第 3 回 平成 2 9 年 1 2 月 1 9 日 会場 深谷市上柴 公民館 大会議室	(1)講演 「地域の健康実態と保健事業の評価について ～高血圧対策を中心とした重症化予防～」 講師 生活習慣病予防研究センター代表 (2)グループ演習 「個別保健事業の見直しの視点について～評価編～」 助言者 生活習慣病予防研究センター代表 埼玉県国民健康保険団体連合会職員	3 2 人

(10) 高齢者の食支援事業

ア 食事形態に配慮した食事提供に関する学習会

摂食嚥下困難な方に対する食事の提供方法について学ぶとともに、病院、介護保険施設等に所属する管理栄養士等が顔の見える関係を築き、地域連携の促進を図ることを目的に実施した。

実施日	内 容	参加者
平成 3 0 年 2 月 1 4 日 会場 加須保健所	講演及び演習 「高齢者の身体特性と食支援について」 講師：医療法人社団 弘人会 中田病院 リハビリテーション科 係長 栄養科 係長	栄養士、高齢者 施設職員、市職 員等 2 3 施設 2 9 人

(11) 出前講座

実施日	内 容	対 象	参加者数
平成29年 5月26日	学校栄養職員等5年目研修会 講師 加須保健所 栄養指導員	学校栄養職員	4人
平成29年 8月29日	学校栄養職員等10年目研修会 講師 加須保健所 栄養指導員	学校栄養職員	5人
平成29年 6月19日 10月16日 12月18日	食育に関する最新情報の提供と、 平成29年国民健康・栄養調査に 係る説明会等	栄養士会 花みずき会員	26人
平成30年 2月22日	行田市食生活改善推進員協議会 全体研修会 講話 「子どもの健やかな成長のために ～おやつヒント～」	食生活改善 推進員等	78人

(12) 健康長寿サポーター養成講習

2回 75人養成

(13) 歯科保健

生涯を通じた歯の健康づくりの推進と保健・医療・福祉の連携促進を目的に、関係者の会議と研修を実施した。

保健所歯科口腔保健連携会議

実施日	内 容	参加者
平成29年 9月28日 会場 加須保健所	(1)講演 「埼玉県における歯科保健の現状について」 講師 埼玉県健康長寿課 主査(歯科医師) (2)報告 テーマ「8020達成型県民社会の実現を目指して」 発表 埼玉県歯科医師会 地域保健部員 (3)情報交換 テーマ「地域における歯科保健事業の取組状況及び評価 について」情報交換	歯科医師 、歯科衛 生士、市 保健及び 高齢介護 担当課職 員等 21人

2 母子保健

(1) 不妊治療費助成事業

少子化社会対策及び次世代育成支援の推進を図ることを目的に、これにより不妊に悩む夫婦が不妊治療を受けることによる経済的負担を軽減し、治療を受ける機会を増大することになった。埼玉県では、平成16年4月から事業を開始した。

なお、平成27年度から男性不妊治療費助成事業が開始された。

特定不妊治療費助成金申請件数	190件
男性不妊治療費助成申請件数	0件

特定不妊治療費助成金支給件数 平成29年度

支給件数	行田市	加須市	羽生市	計
H29	49	91	50	190
H28	45	82	65	192

(2) 療育医療

児童福祉法第20条の規定により結核に罹患し、長期の入院を要する児童に対し、治療と教育をあわせて行うために、学習用品、日用品及び医療費を給付している。

申請件数 0件

(3) 子どもの心の健康相談

子どもの心の問題は、複雑で広範囲に及ぶものであり、保健、医療、教育、福祉など他機関にわたっての対応が求められる問題である。この視点から当所では、小児精神科医師と臨床心理士による相談を年6回開催した。

ア 全体の来所状況

小児精神科医師	9
臨床心理士	3
計	12

イ 来所経路

本人・保護者	11
市	5
教育関係機関	1
計	17

ウ 来所者の状況

子どもの年齢実(延)人数

実年齢	H 2 9	H 2 8
0～6歳	4(4)	8(14)
7～9歳	5(5)	9(14)
10～12歳	2(2)	6(12)
13～15歳	1(1)	1(1)
16～18歳	0(0)	0(0)
計	12(12)	24(41)

相談者(延人員)

	H 2 9	H 2 8
本人・家族	12	37
関係機関	7	4
その他	0	0
計	19	41

相談内容

	H 2 9	H 2 8
行動の問題	6	15
心理的問題	4	8
社会化の問題	6	12
身体化症状	1	0
食行動の問題	0	1
排泄の問題	0	0
習癖の問題	0	2
発達の問題	5	13
性の問題	0	0
家族機能の問題	0	0
関係者の対応	3	0
その他	0	0
計	25	51

相談結果(延人員)

	H 2 9	H 2 8
対応方法の助言等	11	38
他機関紹介	3	1
経過観察	6	0
その他	0	23
計	20	62

エ 会議及び研修会

(ア) 小児精神保健医療推進連絡会議

実施日	内 容	参加機関・人数
平成29年 8月2日	保健所の事業説明 事例紹介 情報交換	管内市の母子保健・児童福祉担当 課・教育機関、支援センター、保 健所 20人

(イ) 子どもの心の問題に関する研修会

実施日	内 容	参加機関・人数
平成29年 7月28日	講演 「SNS がもたらす健康問題・関係ト ラブルの実際と支援の在り方」 講師 埼玉県立大学教授 東 宏行 氏	管内市の母子保健・児童福 祉担当課、教育機関、保健 所 19人
平成29年 8月2日	ひきこもり講演会 ～とぎれない支援のために～ 講師 臨床心理士 高橋 良臣 氏	管内市の母子保健・児童福 祉担当課、教育機関、保健 所 20人

(4) 保健所別母子保健連絡調整会議

管内関係機関間における連携を強化し、併せて母子保健従事スタッフの資質向上を目的に下記内容で会議等を開催した。

実施日	内 容	参加機関・人数
平成29年 6月13日	市、保健所の母子保健事業の情報共有 平成29年度事業計画	管内市母子保健担当、児童福 祉担当職員 12人

(5) ふれあい親子支援事業

育児への不安を抱える家族や虐待のリスクのある家族に対して、平成19年11月からグループミーティングを実施していたが、平成27年度でグループは終了した。

受理ミーティング、精神科医及び心理士の個別面接、関係職員の研修会を併せて実施し、管内の関係職員のスキルアップを図っている。

	実施回数	参加延人数	
		母	子
精神科医師個別面接	0	0	0
心理相談員個別面接	2	3	4

(6) 長期療養児教室

疾病により長期療養を必要とする児童の保護者同士で情報交換等を行うことができるよう講演会を開催した。

開催日	内 容	参加者
平成29年 10月28日	型糖尿病を持つお子さんとご家族の集い 講義「1型糖尿病とともに生活しよう ～主治医は私～」 講師 埼玉県小児医療センター 糖尿病看護認定看護師 井出 薫 氏	患者家族 6人

(7) 児童虐待防止

ハイリスク児（未熟児や発達障害児等）や虐待事例、母子双方に困難さを抱える事例に対する支援を児童相談所や市児童福祉担当、児童福祉施設等の関係機関と連携しながら行っている。

関係機関との密接な連絡調整に基づき、要保護児童対策協議会及びケースカンファレンスへ参加し、支援の方向性を確認しながら個別支援を行っている。

平成29年度

内 容		回数・件数	
熊谷児童相談所での連絡調整会議等参加		0回	
市等関係機関とのケースカンファレンス等		4回	
要保護児童対策地域協議会参加		16回	
虐待防止ネットワーク会議 参加	市町村主催	0回	
虐待（疑いを含む）ケース に関する連絡調整	実件数	5件	
	延べ件数	5件	
個別事例支援	訪問	実件数	1件
		再)児相職員と協働	0件
		延べ件数	1件
		再)児相職員と協働	0件
	面接	実件数	4件
		再)児相職員と協働	0件
		延べ件数	4件
		再)児相職員と協働	0件
電話	延べ件数	10件	

3 難病

(1) 指定難病等医療給付事業

指定難病（平成30年3月31日現在330疾患）、特定疾患（4疾患）、県単独指定難病（4疾患）、小児慢性特定疾患及び先天性血液凝固因子欠乏症等について医療給付を行い、適正な医療の普及と患者家庭の医療費の負担の軽減を図っている。

指定難病（特定疾患及び県単独指定疾患を含む）受給者数

平成30年3月31日現在

年度	行田市	加須市	羽生市	計
H29	469	724	286	1,479
H28	503	769	304	1,576

(2) 小児慢性特定疾病医療給付受給者数 平成30年3月31日現在

年度	行田市	加須市	羽生市	計
H29	86	99	51	236
H28	78	93	57	228

疾患群別受給者数

No	対象疾患群	H29	H28
1	悪性新生物	29	27
2	慢性腎疾患	10	8
3	慢性呼吸器疾患	11	9
4	慢性心疾患（内科的治療のみ）	55	56
5	内分泌疾患	64	65
6	膠原病	4	2
7	糖尿病	19	19
8	先天性代謝異常	3	3
9	血友病等血液疾患	3	4
10	免疫疾患	4	4
11	神経・筋疾患	19	18
12	慢性消化器疾患	8	8
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	6	4
14	皮膚疾患群	1	1
	合計	236	228

児童福祉法の一部を改正する法律により、平成27年1月1日から新たな制度となり、平成30年4月1日から対象疾病を35疾病増え、756疾病が対象となった。

(3) 先天性血液凝固因子欠乏症医療給付受給者数 平成30年3月31日現在

年度	行田市	加須市	羽生市	計
H29	4	3	1	8
H28	4	3	1	8

(4) 在宅難病患者支援事業

ア 相談・訪問指導

平成29年度

区分		特定疾患・指定難病	小児慢性特定疾病	血液凝固因子障害
相談	実人員	1,705件	280件	9件
	延人員	2,011件	393件	9件
訪問	実人員	30件	0件	0件
	延人員	96件	0件	0件

イ 所内ケース支援判定会議

「埼玉県における難病患者等支援に関する手引き」に基づき、要支援対象の神経難患者を中心にケース支援判定会議を5回実施し、情報共有と支援方針を検討し在宅療養支援計画を策定した。

ウ 訪問相談員育成事業

在宅神経難病患者に関わる訪問看護師等の支援者が神経難病の特徴を理解して関わることで、より適切なケアにつながり難病患者のQOLが向上することを目的とし、研修会を実施した。(県東部保健所共催)

平成29年度

実施日	内容		参加者
第1回 平成29年 12月5日	幸手会場	講師 国立病院機構東埼玉病院 神経内科医 生田目 禎子 氏	訪問看護師等 22人
第2回 平成30年 1月12日	草加会場	講師 国立病院機構東埼玉病院 神経内科医 門間 一成 氏	訪問看護師等 26人

エ 集団指導（患者・家族対象）

（ア）医療講演会（県東部保健所共催）

平成29年度

実施日	内 容	参加者
平成29年 10月25日	講演 「シェーグレン症候群と成人スティル病の理解と治療」 講師 国立病院機構東埼玉病院 リウマチ科医長 中嶋 京一 氏	患者・ 家族 45人

（イ）ALS東部ブロック交流会（県東部保健所共催）

平成29年度

実施日	内 容	参加者
平成29年 9月30日	会場 越谷市保健所 (ALS協会主催、保健所は共催で実施) 講演 「ALSのリハビリテーション」 講師 国立病院機構東埼玉病院 機能回復部門部長 大塚 友吉 氏 講演 「リハビリスタッフの頭の中」 講師 国立病院機構東埼玉病院 作業療法士 勝沢 香織 氏 患者・家族の交流会	患者 19人 家族 31人 関係者45人

オ 在宅難病患者支援者研修会

医療依存度が高く、医療や介護等の多職種連携が必要な神経難病患者に関わる支援者を対象に、災害時対策についての研修会を行った。

平成29年度

実施日	内 容	参加者
第1回 平成29年 11月22日	テーマ「在宅療養者の災害時支援」 講義 「災害により引き起こされること」 講師 国立病院機構東埼玉病院 神経内科医長 鈴木 幹也 氏 情報提供「管内の医療機器使用中の難病患者」 加須保健所 保健予防推進担当 グループワーク 「発災直後に起こり得ること」	訪問看護師、ケア マネジャー、介護 支援専門員、行政 職員等 26人
第2回 平成30年 1月26日	講義 「医療的ケアが必要な在宅療養者の災害時支援」 講師 東京都多摩難病相談・支援室 就労コーディネーター 小川 一枝 氏 グループワーク 「個別支援計画を立ててみよう」	訪問看護師、ケア マネジャー、介護 支援専門員、行政 職員等 29人

(5) 原子爆弾被爆者に対する事業

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）に基づき、管内居住の被爆者に対して医療給付事務手続等を行っている。

被爆者健康手帳所持者数（人） 平成29年度

行田市	加須市	羽生市	計
7	12	3	22

(6) 肝炎治療特別促進事業

B型及びC型ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療）の医療費を助成し、将来の肝硬変及び肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止、県民の健康保持、増進を図る。

肝炎治療受給者証交付申請件数

平成29年度

治療内容	行田市	加須市	羽生市	計
インターフェロンフリー治療	42	41	20	103
核酸アナログ製剤治療	18	53	11	82
計	60	94	31	185

4 精神保健福祉

(1) こころの健康相談・訪問指導

平成29年度

来所相談・ 訪問指導等 (実人数)	新規受付経路(再掲)		
	市町村	病院	その他
216	22	5	68

ア 来所相談(再掲)

平成29年度

病態分類別 (実人数)	延べ人数							再掲	
	老人精 神保健	社 会 復 帰	アルコ ール	薬 物	思春期	その他	計	ひきこ もり	自殺 関連
								32	0
31	7	12	5	3	9	118	154	32	0

イ 訪問(再掲)

平成29年度

病態分類別 (実人数)	延べ人数							再掲	
	老人精 神保健	社 会 復 帰	アルコ ール	薬 物	思春期	その他	計	ひきこ もり	自殺 関連
								19	0
14	2	21	1	0	0	99	123	19	0

ウ 電話相談等

平成29年度

実人数	延べ人数
171	754

(2) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく申請・通報・届出等

ア 措置通報件数及び診察結果

平成29年度

区 分	通報及び 申請件数	結 果	
		措置不要 診察不要	要 措 置 (緊急措置を含む)
一般人からの保護申請(22条)	0	0	0
警 察 官 通 報(23条)	18	8	10
検 察 官 通 報(24条)	3	1	2
保護観察所の長の通報(25条)	0	0	0
矯正施設の長の通報(26条)	10	10	0
精神科救急情報センター 及び他保健所受理	3	0	3
計	34	19	15

*上記に加えて本鑑定 3 (措置不要1、要措置2)

イ 医療保護入院等届出状況

平成29年度

区 分	計
医療保護入院届	118
医療保護入院の退院届	113
医療保護入院の定期病状報告	119
措置入院の定期病状報告	5

(3) ひきこもり関連事業

ア ひきこもり専門相談

臨床心理士による専門相談(月1回): 1回、延べ相談件数3件

イ ひきこもり関連講演会

実施日	内 容	参加者
平成29年 8月2日	テーマ「ひきこもり講演会 ~とぎれない支援のために~」 講 師 登校拒否文化医学研究所 臨床心理士 高橋 良臣 氏	住民及び関係者 20人

(4) 精神保健推進事業

ア 研修

実施日	内 容	参加者
平成 2 9 年 1 0 月 1 2 日 1 1 月 2 7 日 1 2 月 1 5 日	精神保健福祉相談研修 テーマ「相談の受け方について」 事例提供 各市保健センター 講師 臨床心理士 小笠原 美江 氏	管内関係者 3 0 人
平成 2 9 年 1 0 月 1 8 日	地域支援研修 テーマ「精神疾患の基礎知識」 講師 埼玉県立精神医療センター 医師 長治 裕子 氏	管内関係者 4 9 人
平成 3 0 年 2 月 2 0 日	高齢者福祉に携わる支援者研修 テーマ「精神疾患を抱える高齢者の事例を 通して、支援技術の向上につなげよう」 講師 臨床心理士 菊池 礼子 氏	管内関係者 4 5 人

イ こころの健康講座

実施日	内 容	参加者
平成 2 9 年 1 1 月 2 4 日	地域移行支援事業講演会 テーマ「ひとりぼっちをなくそうin羽生」 講師 当事者 4 名	住民及び 関係者 7 1 人

5 結核・感染症

(1) 結核予防

ア 結核相談・指導等件数

平成29年度

相 談			訪 問 指 導			
電 話	来 所	文 書	実人員	再掲 DOTS	延べ人員	再掲 DOTS
延べ人員	延べ人員	延べ人員				
818	152	31	96	37	248	110

年2回、計43名について、コホート検討会を実施した。

イ 新規登録患者数（市別活動性分類） 期間：平成29年1月1日～12月31日

市 別	総 数	肺結核活動性				肺外 結核 活動性	別 掲 潜在性 結核 感染症
		喀痰塗抹陽性		その他 の結核 菌陽性	菌陰性 その他		
		初回 治療	再 治療				
行田市	14	7	0	2	3	2	3
加須市	15	8	0	3	2	2	10
羽生市	7	3	0	3	0	1	3
合 計	36	18	0	8	5	5	16

ウ 結核登録者数（市別活動性分類）

平成29年12月31日現在

市別	総数	活動性肺結核				肺外 結核 活動性	不 活 動 性	活 動 性 不 明	別 掲 潜在性 結核 感染症
		登録時喀痰 塗抹陽性		登録時 その他 の結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他				
		初回 治療	再 治療						
行田市	13	1	0	1	0	2	7	2	5
加須市	12	1	0	0	1	0	8	2	7
羽生市	11	0	0	0	0	1	10	0	34
合 計	36	2	0	1	1	3	25	4	46



工 管理検診・接触者健診受診状況

平成29年度

区 分		受診者数	ツ反検査	IGRA検査	X線直接撮影	喀痰検査	健診結果			
							要治療	潜在性結核感染症	結核発病の恐れあり	異常なし
管理検診	保健所	7	-	-	7	0	0	-	-	7
	医療機関	118	-	-	118	0	0	-	-	118
	計	125	-	-	125	0	0	-	-	125
接触者健診	保健所	450	0	315	135	1	1	21	9	419
	医療機関	15	0	15	0	0	0	0	0	15
	計	465	0	330	135	1	1	21	9	434

オ 加須保健所感染症診査協議会

- ・平成29年度 24回実施
諮問件数と内訳

諮問件数	入院勧告 (法19・20条関係)	就業制限 (法18条関係)	公費負担 法37条の2
	150	59	29

(2) 感染症予防

ア 感染症法に基づく全数把握対象感染症数

平成29年度

類 型	感染症名	発生	調査	接触者健診
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	35	7	216
	腸チフス	1	1	
	コレラ	1	1	
四類感染症	レジオネラ症	12	10	-
	E型肝炎	2	2	-
五類感染症	梅毒	3	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	-	-
	ウイルス性肝炎	1	-	-
	急性脳炎	1	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	-	-
	アメーバ赤痢	1	-	-

イ 施設等への感染症集団発生対応

感染症の集団発生があり、連絡があった施設に対して、調査や対応等の相談を実施した。

インフルエンザ	12件
感染性胃腸炎	1件
ヒトメタニューモウイルス感染症	1件
疥癬	2件
腸管出血性大腸菌感染症	1件
手足口病	1件

ウ 性感染症相談事業

エイズ等の性感染症、B・C型肝炎に関する相談、検査（月2回）を実施

相談 件数	電話	延べ 98件	検査 件数	HIV抗体検査	39件
				梅毒反応検査	37件
				HBs抗原検査	38件
	来所	延べ 88件		HCV抗体検査	37件
				クラミジア検査	37件

エ 管内市感染症業務担当者連絡会議

実施日	内 容	参加者
平成29年 6月15日	最近話題の感染症等について情報提供 新型インフルエンザ等対策について情報交換	各市担当者

オ 研修

感染症予防の正しい知識の普及啓発を目的として実施した。

実施日	内 容	参加者
平成29年 6月15日	TONE感染カンファレンスにて情報提供 「感染症発生動向調査、結核DOTS、インフルエンザ、梅毒等最近のトピックスについて」 講師 保健所職員	医療圏内の 看護師等 約60人
平成29年 8月8日 (地域推進担当 主催)	講話 「医療機関における院内感染防止対策」 講師 済生会栗橋病院 小美野 勝 氏 行田総合病院 平 直美 氏	管内医療機関の 医師・看護師・ 事務等 25人
平成29年 10月13日	高齢者施設向け感染症予防研修会	高齢者福祉施設 職員 35人
平成29年 11月15日 平成30年 2月1日	感染症予防講話 「インフルエンザ、感染性胃腸炎、結核について」 講師 保健所職員	美容業生活衛生 同業組合員 46人 施設職員 18人
平成30年 2月19日	思春期保健研修会 「思春期の心と体の健康を守るために知っておきたい こと～産婦人科医の実践から学ぶ～」 講師 埼玉医科大学 社会医学 産婦人科医師 高橋 幸子 氏	管内養護教諭等 15人
平成30年 2月21日	防護服着脱訓練 講師 保健所職員	保健所職員 消防機関職員、 専用外来看護師 等28人